

市報

とく



平成6年

3/1号

No.753

うるおいと活力あふれ未来にはばたく交流都市

心あつたかいサービス贈ります。

ご利用ください在宅福祉サービス

長い人生、健康なときばかりだとは限りません。

老後をどう過ごすかは他人事ではなく、私たち一人ひとりの問題です。

市では、おじいちゃん、おばあちゃんが毎日を笑顔で安心して暮らせるよう三月末までに、保健・医療・福祉の各分野にまたがる複数のサービスを総合的、計画的に整備する指針として「鳥栖市老人保健福祉計画」をまとめる一方、昨年春には、地域福祉サービスの拠点である特別養護老人ホーム「真心の園」の大規模な施設の増改築を行い、在宅福祉サービス

スの充実に努めています。

同計画の内容は、まとまり次第、市報でお知らせしますが、一昨年九月に行なった「高齢者ニーズ調査」では半数を超える方が在宅福祉サービスについて知らないとの結果が出ています。そこで、今号では「真心の園」に委託して進めている在宅福祉サービスについてご紹介します。

サービスについてのお問い合わせは福祉事務所高齢者対策係（☎ 095-555-4）または在宅介護支援センター（☎ 095-630-5）へ。

在宅介護支援センター

介護が必要なお年寄りの実態把握や在宅介護に関する相談業務、公的保健・福祉サービスの紹介と利用申請手続きの案内、

利用者にあった介護機器の紹介などのほか、相談を受けたご家庭を訪問し、在宅介護の方法などについて指導や助言をします。

センターにはソーシャルワーカーと看護婦を配置、二十四時間体制でみなさんの相談をお受けします。

平成四年度の相談延べ

人数は七百四十三人。相談件数はショートステイに関するもの二百四十四件をはじめ、全部で千百四十六件にもぼりました。また、調査などで五百九十九回（月四十九回）家庭を訪問しています。

対象　おおむね六十五歳以上の寝たきりまたは体が弱いなど日常生活を営むのに支障がある方とその家族

利用料　無料

相談先　在宅介護支援センター（☎ 095-630-5）

手渡ししないと
あとで気になります

「おいしかった」と言つて
くださると、自分が作ったよ
うにうれしいですね。

一一番気をつけていることは、
配食中の事故。それに昼食で
すから、正午前後にはみなさ
んにお渡しできるようとに心
がけています。たまに頼んだ
ことを忘れて外出されている
方もありますが、お元気な顔
を見て、手から手に渡さない
と、あとから気になりますね。



栄養のバランスを考え季節も一緒に届けます

給食サービスの献立を担当する内田光子さん（栄養士）

ますが、一週間毎日とられる方もいるので、お肉などもたまに入れたり、同じ魚でも煮たり、揚げたりと工夫が必要ですね。また、節分の日には節分の豆を添えるなど、季節が感じられるものを一緒に届けたり、園の行事に合わせてせんざいやぶた汁、だご汁などを入れています。

温かいうちに召し上がってもらいうため調製は午前十一時。みなさんから「おいしかったよ。ありがとう」と言われると、また頑張って作つてあげないと、という気持ちになりますね。

献立は一日三十品目くらいで栄養のバランスがいいものと心がけています。お年寄りの好みに合わせてやはり煮物、あえ物などが中心になります。



私たちが担当しています

給食サービスの配達を担当する木原学さん（右）と松下治雄さん（介護助手）





給食サービス

濯掃除、買い物など家事のお手伝いをするほか、生活、身の上、介護に関する相談や助言も行います。

利用料 前年の所得税額に応じて一時間当たり二百五十～八百八十円（ただし、生活保護世帯、所得税非課税世帯は無料）

みんなが楽しく
けがないように
デイサービスを担当する
有馬尚子さん(主任指導員)



自立できる介助と
たくさんの会話を
ホームヘルプサービスを担当す
る片岡幸子さん(主任ヘルパー)

週二回から六回まで、
ご希望に応じ、昼食を自
宅までお届けします。
給食の訪問サービスは、
平成四年七月からスター
ト。昨年まで軽貨物自動
車を改造した冷蔵庫付き
配食車一台で週二回、六
十五歳以上の一人暮らし
のお年寄りと老人のみの
世帯に配食していました
が、サービスの向上を図
るため、今年から配食車
を二台に、配食要員も二
人に増員。
一日二十九人

現在では、一日二千食の前後の利用があり、徐々に増えています。

お風呂は納得いくまで
ゆづくりと
入浴サービス(通所)を担当
する森下勝代さん(寮母)

スで家庭へお送りするまで、
お年寄りがけがをされないよ
うに気をつけています。また、
それぞれ症状も違うので、み
んなが参加して、一緒に楽し
めるようなゲームなどをする
ように心がけています。

利用された方から「楽しか
った。また、来たい」と言わ
れるのが本当にうれしいです
ね。毎日が私自身の勉強です。

みなさんご家庭でお風呂に入つたり、外出したりできな
い方なので、入浴は納得がいくまで、ゆっくりと入れてあげるようになっています。みんな
さんはきれいになつて帰つてもらいたいですね。

手を合わせて感謝してくださる方もおられ、私も「してやる」じやなく「させていただく」という気持ちで毎日、お世話をさせていただいています。

身の回りのお世話はサービ
ス過剰にならず、みなさんが
自立できるような介助をし、
できるだけたくさん会話をす
るよう気をつけています。
訪問するたびにみなさんが
明るく元気になっていくのが
目に見えてわかりますね。
私たちも毎日が楽しく、へ
ルバー同士でいつも「この仕
事をしてよかったです」と喜んで
います。

入浴サービス(通所)

私たちには利用しています

自宅で入浴できない方を車で送迎し、入浴のほか利用者の状態や希望により、食事や散髪、つめ切り、簡単なりハビリなどのお世話をします。

一人月三回程度利用できるようになりました。

平成四年度の利用者は三十九人で、延べ四百七回の利用がありました。
対象　おおむね六十五歳以上の寝たきりのお年寄りまたは介護者の手不足、入浴設備の関係で家庭でお風呂に入れない方

が利用されていましたが、現在は午前二人、午後一人の計三人を受け入れ、

（80歳・71歳、神辺町）



ショートステイ

寝たきりのお年寄りなどの介護に当たる家族の方が病気や出産、旅行、冠婚葬祭などで一時的に介護ができなくなつた場合、そのお年寄りを老人ホームでお預かりして、日常のお世話をします。

ショートステイのベッド数は真心の園に二十四床確保しているほか、市外の老人ホーム四か所とも契約を結んでいます。利用手続きの簡素化を図るために、従来は利用のたびに申請書を提出してもらっていましたが、平

成四年度から登録者に利用券を発行、電話などで簡単に予約できるようになりました。

平成四年度の登録者は五十九人で、一回の平均利用日数は六日間。一人当たり年三回の利用があり、年々、登録者も利用回数も増えています。

いくら感謝しても感謝しきれません
訪問入浴サービスを利用する大石ツタエさん（62歳、布津原町）



母を月二回、入浴させていただきます。家族では、体をふいてやるのがやっとでしたので、本人も大変喜んでいらっしゃいます。お風呂に入る感覚がよくなるのか、母も元気に。笑顔や言葉が以前よりもよく出るようになりました。正月には、わざわざ鳥越温泉のお湯をくんで、入れていただいたんですよ。みなさんは、いくら感謝しても感謝しきれませんね。



主人が一年ほど前、座骨神経痛の悪化で一時期、寝たきりの状態になつた時から利用しています。最初は入浴や食事の世話を頼んでいましたが、今は主に掃除と買い物を週一回、一時間か一時間半程度お願いしています。他人に家中を見られたり、世話をされたりといふことに初めは抵抗を感じましたが、いつたん自分の殻を破ると、若い人が来ることで家中が明るくなり、今は来てくれるのが楽しみ。ヘルパーさんも「自分の家に帰ってきたみたい」と言つてくれるので、こちらも本当の娘が来たよううれしくなります。

デイサービス



真心の園デイサービスセンターで午前十時から午後三時半まで、職員六人と地区ボランティアの方二人が入浴や食事、生活指導、リハビリなどのお世話をします。送迎は、リフト付きバスが週一回、地区ごとに曜日を決めて巡回します。

事業を開始した平成元年度の利用者は一日平均七・七人、延べ百七十八

人にとどまっていましたが、年々、利用者も増え、四年度では一日平均十九・八人、延べ四千六百六十二人（男性千四十九人、女性三千六百十三人）に達しています。

対象 おおむね六十五歳以上で体が弱いなどのために日常生活を営むのに支障がある方

利用料 一日五百円（昼食代を含む）

全く出なかつた言葉が少しづつ出るようになります。

デイサービスを利用する

松隈厚さん（79歳、本町）



みんなで歌を歌つたりするのが一番

デイサービスを利用する

江田スミエさん（80歳、藤木町）

妻と二人でサービスが始まつた時から利用していますが、職員のみなさんが親切で、熱心にお世話をしてくれます。利用者同士も友だちになつて楽しく話をしたり、お風呂に入つたり。週一回、ここに来るのが楽しみです。

車いすを使う妻は以前、全く言葉が出なかつたのが、ここに来るようになって、少しずつ言葉が出るようになったんですよ。

訪問入浴サービス

看護婦、ホームヘルパー、介助補助員の三人が

入浴車で月一回、一日三世帯程度を巡回します。

入浴車は、ハイルーフバ

ンを改造したもので、洗

髪槽とハンドシャワー付

きの浴槽、容量三百㍑の

タンクを収納。備え付け

のボイラードでお湯を沸か

し、室内に浴槽を持ち込

んで入浴のお世話をしま

す。入浴の前後には、利

用者の血圧や脈拍の測定、

検温などを行い、健康状

態にも十分気をつけてい

ます。

看護婦、ホームヘルパー、介助補助員の三人が入浴車で月一回、一日三世帯程度を巡回します。

入浴車は、ハイルーフバ

ンを改造したもので、洗

髪槽とハンドシャワー付

きの浴槽、容量三百㍑の

タンクを収納。備え付け

のボイラードでお湯を沸か

し、室内に浴槽を持ち込

んで入浴のお世話をしま

す。入浴の前後には、利

用者の血圧や脈拍の測定、

検温などを行い、健康状

態にも十分気をつけてい

ます。

対象 おおむね六十五歳以上の寝たきりのお年寄りで、家族が入浴させたり、デイサービスセンターに通うのが困難な方

の年齢に応じて一日三回の利用料、ホームヘルパーの利用料に準じます（前年所得税額に応じて一百八十円）。ただし、生活保護、所得税非課税世帯は無料）

本当に大助かり



給食サービスを利用する

山内みわさん（76歳、曾根崎町）

一人暮らしで腰も痛く、長時間台所などに立っていることができないので、ふだんはもっぱら近くのスーパーなどからできあいのものを買ってきます。味がよくて、とてもおいしいですね。量も食べきれないぐらいありますよ。本当に大助かりです。

給食サービス週三回利用

時間当たり二百五十円。ただし、生活保護、所得税非課税世帯は無料）

PJMホームタウン作り始動

500人を集めてサッカー教室も

鳥栖市をホームタウンとして九五年のJリーグ入りを目指すジャパンフットボーリング(JFL)のPJMファユーズは一月二十二日、佐賀市の県総合運動場で記者会見し、地域に密着したチーム作りを進めるため、小学生から一般までの下部組織を四月に発足させることを明らかにしました。午後からは同運動場で小・中学生を対象にした

県サッカー協会主催のサッカーレッスンが開かれました。

下部組織は、二軍に当たる一般の「ジュニアオール」、高校生の「ユース」、中学生の「ジュニアユース」、小学生の「スクール」の四組織から成り、それぞれ約二十人で構成。コ

ーチは張外龍(チャン・ウーリヨン)選手が務めます。二月十九、二十の両日にはこの下部組織の選手を選考するセレクションが佐賀大学グラウンドで行われました。

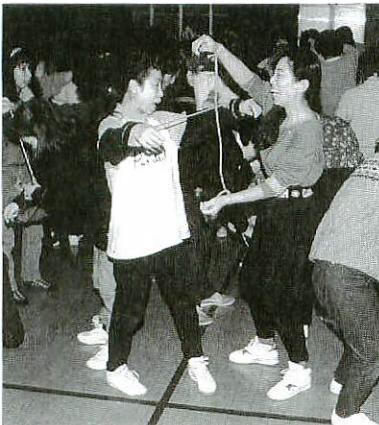
また、小雨まじりの中で行われたサッカーレッスンは、小・中学生約五百人が参加。PJMファユーズの主力選手ウーゴ・マラドーナやセルジオ・バチスタ、張外龍コーチが、ドリブル、パス、ボールコントロールなどの基礎技術を指導したほか、後半は選手を交えたミニゲームを行いました。子供たちは選手の鮮やかなプレーを熱心に見守り、目を輝かせていました。



記者会見するPJMのメンバー

福祉レク講習会

施設職員など100人が学習



楽しみながら学ぶ参加者

社会福祉関係の仕事に携わる方たちのための「福祉レクリエーション講習会」が二月十五日、社会福祉会館で開かれました。



サッカー少年らを指導するパチスタ選手

職域対抗伝統鳥栖警察署が初優勝

第三十回鳥栖市職域対抗駅伝大会が一月三十日、鳥栖商工団地で開かれ、事業所、中学生、クラブなど二十七チーム百八十九人が参加。七区間二十三・二九分二十四秒の好タイムで念願の初優勝。前回出場タイムを七分二十二秒短縮して敢闘賞も獲得しました。

成績は四区間で区間賞を取った鳥栖警察署が常勝ブリヂストンを一分八秒差で破る一時間二十一分二十四秒の好タイムで念願の初優勝。前回出場タイムを七分二十二秒短縮して敢闘賞も獲得しました。

その他の上位成績は次のとおりです。

【職域】②ブリヂストンA③九州積水A④鳥栖市役所⑤九州松下【オープン】①ナショナル住宅②田代中学校A



最近、楽しいゲームを取り入れたりハビリが注目されていることや、福祉施設の職員からレクリエーションに関する相談が寄せられていることなどから、県レクリエーション協会と市社会福祉協議会が協力して、県内では初めて開催。福祉施設の職員をはじめ、保健婦やボランティアなど、定員の五十人にに対して二倍の約百人が参加しました。

講習会では、福岡市レクリエーション協会常務理事、角田良子さんが手遊び、歌遊び、道具を用いた遊びのほか、指圧や手話なども指導。参加者は自身も一緒に楽しみながら、お年寄りや障害を持った方のためのさまざまなレクリエーションを学びました。

また、最後に質疑応答が行われ、参加者から「レクリエーションの時間はどれくらいが適切ですか」などの質問が出され、角田さんが「個人差はありますが、一時間ぐらいが目安」と答えました。

麓小児童が真心の園慰問

面浮立や合奏など披露

麓小学校の四年生以上の児童三十七人が二月八日、真心の園を慰問し、面浮立や合唱、合奏、かぜの予防などをテーマにした紙芝居などを披露、お年寄りたちをしました。

重ねてきました。

面浮立を熱演する麓小児童



事業完了を祝つて竣工碑を除幕

平田地区のほ場整備終わる

鳥栖西部・平田地区の県営は場整備事業が完了し、二月十四日に平田町の現地で関係者五十人が出席して竣工式と竣工記念碑の除幕が行われました。

式では平田町は場整備委員長の高田力さんが地区を代表し、「みちがえるようになってきたのも地区のみなさんの協力のおかげです。永遠にこのは場を守っていく決意を持たれんことを期待します」とあいさつ、事業の完了を祝いました。

同地区的受益面積は県道佐賀川久

平田、立石両地区を整備する鳥柿
西部地区六十一^{タケ}のほ場整備は、残
る立石地区四十六・八^{タケ}の工事が来
年度にはすべて終わる予定になつて
います。

同校はお年寄りとふれあい、ボランティアの精神を身につけようと、十年ほど前から真心の園を慰問しています。児童会の運営委員を中心に、音楽クラブなども自主的に参加。三学期に入つて準備を始め、昼休みや放課後を利用して練習を

一のほか、おじいちゃん、
おばあちゃんにあてた手紙
をプレゼント。会場に集ま
ったお年寄りの顔も終始ほ
ころんでいました。

また、ベッドで寝たきり
のお年寄りも、各部屋に中
継されたテレビで楽しみま
した。

社会福祉大会で21人を表彰

第十九回鳥栖市社会福祉大会が二月四日、民生・児童委員や人権擁護委員、区長、公民館長、ボランティアなど約百五十人が出席して社会福祉会館で開かれました。

松雪一江（本町）羽立ミサキ（東町）
立石モトヨ（宿町）白水十策（田代
昌町）寺崎茂（今町）山下美枝子（萱
方町）山本禮次郎（古賀町）原春雄
(加藤田町) 梁井昌子(同) 石橋哲

式典では市社会福祉協議会会長の
山下市長が、「社会福祉協議会がめざ
してきた地域福祉の時機が到来しま
した。その実現に向けて、社会福祉
協議会が中心となり官民一体の取り
組みを強化・推進しなければなりま
せん。そのためには地域の指導的立

朗（河内町）大久保武夫（原古賀町）渡辺信義（立石町）齋藤マサエ（下野町）▽社会福祉施設従事者（松尾千鶴子（村田町）馬場百合子（平田町）立川美智子（古賀町）鶴田フヂエ（村田町）【全国民生委員児童委員連合会会長表彰】平田茂博（田代外町）

場にあるみなさんの力添えが重要です。なお一層のご協力を願いします」とあいさつ。十年以上にわたって地域福祉の推進に寄与された民生

【九州社会福祉協議会連合会会長表彰】酒見敏生（前田町）

・児童委員や福祉施設職員のみなさんを表彰したほか、全国・九州レベルの表彰の伝達を行いました。

体験発表では欧州を十日間視察してきた前田町の酒見敏生さんが、福祉先進国の現状を報告。県中部事務所の藤原滋満所長による講演「明るい高齢化社会と私たちの役割」が行われました。

被表彰者は次のみなさんです（敬称略）。

中華書局影印
清林欽之集

【市社会福祉協議会会長表彰】社
会福祉奉仕者（民生児童委員）江
崎俊子（蘿木町）毛利正代（元町）

山下市長から表彰を受ける社会福祉功労者のみなさん



山下市長から表彰を受ける社会福祉功労者のみなさん

みんな登場

BBSの指導・育成に携わる

和田 三生さん(47歳、古賀町)

「非行少年と呼ばれる人たちは、決して生まれながらの非行少年ではありません。何とかのはずみで誤つて暗い道に迷い込んでしまったんです。」

そんな少年たちが自分の間違に気付き、いつの日か立ち直ってくれる、その手助けになれば……」

二十五歳のとき、非行少年

彰を受賞、現在、BBS担任保護司としてBBS会員の指導と育成に当たっています。

「BBSの活動は、非行少年を更生させるとか正しい道に導くとか、そんな何か改まつ特別なことをするわけじゃないんです。趣味でも何でもいい、まじめな友達として、ふだん良き話し合い手として、ふだ

わざか四人、年齢も高齢化しています。しかし、だれかがボランティアでやらなければ、世の中は良くならない。BBS活動は自分自身の研さんのがとしても非常に有効です。三十歳までの若い人にぜひ入っていただきたいですね」

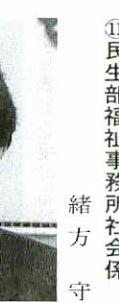
あんひと

(19)

柏市では全盛期に三十人ほどいた会員もここ十年で減少し、今では

社会係では、身体に障害を持つ方や知的障害を持つ方への障害者・療育手帳の交付や施設への入所手続きのお世話のほか、児童手当、児童扶養手当などの給付、乳幼児・母子家庭・重度心身障害者などを

へ医療費の助成、軍人恩給、戦傷病者の援護に関する事務などを行っています。お気軽にお相談ください。



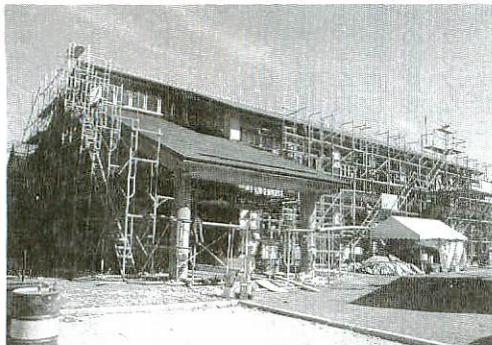
⑪ 民生部福祉事務所社会係
緒方 守

向役所(ミ)まつぶ

んのつき合いをすることが大事なんです」

しかし、保護観察所や家庭裁判所からの依頼で会員が活動する場合、身分保障も報酬も一切ないため、会員になり手がないのが悩みのタネ。

「全国で約六千五百人の会員が活動していますが、鳥



4月20日オープン予定の滞在型農園施設

農業新聞

△34△

滞在型農園施設の利用予約 3月7日から受け付けます

福岡や久留米の影響を受け、鳥栖市にも都市化の波が押し寄せてきます。

市内の農家数は全世界の二割弱。残り九割は非農家で、自分たちの食べる物がどのようにして作られてい

るのかさえ知らない子供たちがおり、また、自分で野菜を作ろうと思つても、その土地がないのが実情です。

同施設は、十七室八十四人収容の宿泊施設 千八百九十九平方(711区画)のふ

け、鳥栖市にも都市化の波が押し寄せてきます。

市内の農家数は全世界の二割弱。残り九割は非農家で、自分たちの食べる物がどのようにして作られてい

るのかさえ知らない子供たちがおり、また、自分で野菜を作ろうと思つても、その土地がないのが実情です。

同施設は、十七室八十四人収容の宿泊施設 千八百九十九平方(711区画)のふ

け、鳥栖市にも都市化の波が押し寄せてきます。

市内の農家数は全世界の二割弱。残り九割は非農家で、自分たちの食べる物がどのようにして作られてい

るのかさえ知らない子供たちがおり、また、自分で野菜を作ろうと思つても、その土地がないのが実情です。

同施設は、十七室八十四人収容の宿泊施設 千八百九十九平方(711区画)のふ

け、鳥栖市にも都市化の波が押し寄せてきます。

市内の農家数は全世界の二割弱。残り九割は非農家で、自分たちの食べる物がどのようにして作られてい

るのかさえ知らない子供たちがおり、また、自分で野菜を作ろうと思つても、その土地がないのが実情です。

同施設は、十七室八十四人収容の宿泊施設 千八百九十九平方(711区画)のふ



「非行少年と呼ばれる人たちは、決して生まれながらの非行少年ではありません。何とかのはずみで誤つて暗い道に迷い込んでしまったんです。」

そんな少年たちが自分の間違に気付き、いつの日か立ち直ってくれる、その手助けになれば……」

彰を受賞、現在、BBS担任保護司としてBBS会員の指導と育成に当たっています。

「BBSの活動は、非行少年を更生させるとか正しい道に導くとか、そんな何か改まつ特別なことをするわけじやないんです。趣味でも何でもいい、まじめな友達として、ふだん良き話し合い手として、ふだ

わざか四人、年齢も高齢化しています。しかし、だれかがボランティアでやらなければ、世の中は良くならない。BBS活動は自分自身の研さんのがとしても非常に有効です。三十歳までの若い人にぜひ入っていただきたいですね」

柏市では全盛期に三十人ほどいた会員もここ十年で減少し、今ではわずか四人、年齢も高齢化しています。しかし、だれかがボランティアでやらなければ、世の中は良くならない。BBS活動は自分自身の研さんのがとしても非常に有効です。三十歳までの若い人にぜひ入っていただきたいですね」

社会係では、身体に障害を持つ方や知的障害を持つ方への障害者・療育手帳の交付や施設への入所手続きのお世話のほか、児童手当、児童扶養手当などの給付、乳幼児・母子家庭・重度心身障害者などを

へ医療費の助成、軍人恩給、戦傷病者の援護に関する事務などを行っています。お気軽にお相談ください。

「母は強く尊し」

「空青ければ」の中に、『お産』という一文がある。これは先生御夫妻が、鹿島は七浦小学校の奥山分校に勤務されたいた昭和十年十二月のこと、陶山先生が二学年複式、奥さんが四学年複式という激務につかれていた時の実話である。

ある日授業中の奥さんが突然産気づかれ、陶山先生が驚いて用意された官舎のフトンの上で「…………すぐ元気のよ

い産声がして男の子が生まれた。私は吃驚仰天、いつもお世話になっている近所の近十さん宅へかけつけ、産婆さんを頼んだが、今から二里近い古枝まで下つてつれてくるには、どんなに急いでもかなりの時間がかかる。家内の方は重荷を下して、おだやかな顔だが、私の方はそんな顔のまねもできない。家内のいうままでできることはしてやったが随分たつてやつと産婆さんがのぼつてこられたときのうれ

さ！私には産婆さんがまるで神様のようにみえた」
僻地といえど私の実家も山奥だつたし、お産があれば二里近い町まで産婆さんを迎えて行かなければならなかつた。昭和十六年三月末弟出産の時は難産で、弟は窒息、気丈な記憶している。弟は火吹き竹で蘇生した。

た病院での出産が多い。
しかし最近私はある人
驚くべき出産の話を聞いて
姪御さんがこの正月に自
産をされたというのである
姪御さんは日頃から色々
強研究され、ひそかに諸
を整え自力出産を計画
日の夜は二歳の長男と共に
浴中陣痛発生。落ち着いて
やを浴槽から洗い場に上
後、浴槽で無事に女児を生
丁度帰宅させていたご主人
手伝いを受けて事後処理

からた。刀出る。と勉強準備そのに入坊げた出産。大人のをさ

れ、乙坊や古聞いをた。しかし必要な影さわで出生劇的にかくしわつを母親後出典を與ふ

その間約
かし出生
立会いに
たが、信

届の際、写真も整理され、正式に理された幼虫が、奥様方へ届けられました。鳥柄は、じ難い事

二歳の
の出産と
事であつ

Viva! ビバ
スポーツ⁽³¹⁾

まずはマナー第一に
試合ではベストを尽くせ



原さん（中央）と、鳴栖少年サッカーの子供たち

女子部員六人を含む総勢九十二人の鳥栖少年サッカーチーム構成は小学三・四年の鳥栖フレンド二、五年の鳥栖ジュニア、六年の鳥栖

鳥栖少年の三チームです。

前から少年サッカーの指導に携われり、毎週火・木・土曜日、仕事が終わるとすぐに練習にかけつけます。

「九州一円、あちこちに練習試合を行きますので、練習ではまずはマナー第一に、あいさつを必ずさせていただきます。成長期の子供にあまり負荷をかけるような練習はできませんが、試合では練習の成果を生かして自分のベストを尽くせと言いかせていただきます」

各地区の練習試合でもまれ、昨年は小城、唐津の大会で優勝、着実に力をつけてきました。

「子供たちがサッカーをやっているときは生き生きとして、雨がふつてもやっています。そんな姿を見る」と、やりがいが出てきます」

会社で見つけた さわやかさん (11)

大島 創業。屋が完は八十
これ 内外両を行ひ
しながらしての
図るC んでい
事業 建築、

組は明治五周年記念事業として、昨年十一月に成し、今後五年間を機会にわが國の地理、地質、生物、文化等の各方面にわたる調査研究を行ふことを計画する。

治四十二年一月に新

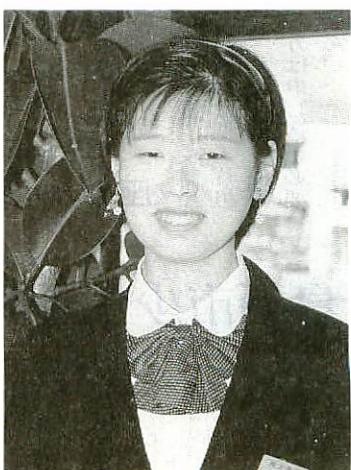
年社新に方ます。年社の社長と献貢革新を組みます。

ムとい
すが、
なつて故
親しまれ
着型の全
私は想
營業事務
す。いろ
をしてこ
鳥柄に
富なお店
るとい

企業といた総合的な発注者の施工を行っています。

建設業者も皆様うら地元にて皆様によります。

あ 豊 事 る ま の に 密 に て



(株) 大島組 勤務
野見山 盛子さん
(25歳、村田町)

福祉

国保の保険証更新
6年度から郵送で

みんなが現在お使いになっている「鳥栖市国民健康保険被保険者証」は、三月三十日で有効期限が切れ、四月一日から使えなくなります。本年度まで保険証の更新は、

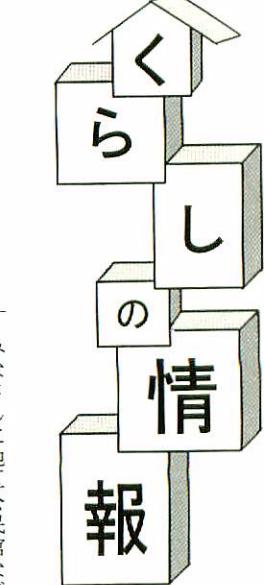
保健

問い合わせは福祉事務所社会係（☎ 3552）へ。

六年度の入園についてのお時間程度、指導員が障害の程度に合わせて指導や訓練などを行っています。

市では、昨年四月から心身に障害を持つ児童のための通園事業「ひかり園」を児童センターで始めました。

ひかり園は週四回・一日四回で、指導員が障害の程度に合わせて指導や訓練などを行っています。



みなさんに地区公民館などへお越しいただいていましたが、平成六年度からは、みなさんのご自宅まで「郵送」でお届けすることになり、三月下旬をめどに発送する予定です。

詳しい内容は市報三月十五日号でお知らせします。

保健課健康保険係（☎ 3582）

募集

市では、五月二十二日（日）に開く「花の日」の行事の一環として花の写真を募集します。身近に咲く草花やみどりの美しさ、などを写真に撮つてどしどしご応募ください。応募はカラーブリント四つ切サイズ（組写真を除く）で、作品の裏に撮影の場所・年月日、住所、氏名を明記し五月十日までに都市計画課（宿町一一八☎ 3603）へ。応募作品は一人二点までで、先着二十点で締め切ります。なお、額は市で準備します。

花の写真展作品

事業名	講座名	実施日	時間
日常生活訓練	機能回復（リハビリ）	毎日（日曜日は除く）	10：00～12：00 14：00～16：00
社会適応訓練	生け花講座（池の坊）	毎週月曜日	10：00～12：00
	ワープロ講座	木曜日	14：00～16：00
創作作業	書道講座	金曜日	
	絵画講座	木曜日	
	陶芸講座	火・木曜日	
	編み物講座（手編み）	土曜日	10：00～12：00
更生相談	手芸講座	水曜日	
	福祉・生活談	金曜日	

◆障害者のための講座

受講希望の方は三月三十一日までに、はがきまたは電話で同センター（元町二二三八一☎ 3616）へお申込みください。なお、はがきには教室名または講座名、住所、氏名、保護者名、電話番号を明記してください。

▼幼児と児童のための教室

教室名	実施日	時間	対象者
絵画教室	土曜日（月2～3回）	14：00～16：00 (第2土曜日のみ)	小学1年生から3年生までの児童と保護者
運動遊び教室	9～11月の土曜日（月3回）	10：00～12：00	幼稚園、保育園に通っていない3歳以上の幼児と保護者
焼き物教室	月曜日（月2～3回）	10：00～12：00	幼稚園、保育園に通っていない3歳以上の幼児と保護者
幼児体育室	母と子のサロン（自由参加）	10：00～12：00	幼稚園、保育園に通っていない3歳以上の幼児と保護者
母と子の広場（自由参加）	毎週水曜日	14：00～16：00	
	母と子の広場（自由参加）	毎週水・金曜日	幼稚園、保育園に通っていない3歳以上の幼児と保護者

講障害者のための座

幼児と児童のための室

焼き物教室のみ材料代が個人担当となります。なお、母と子のサロン、母と子の広場は自由参加で、申し込む必要はありません。

初心者の方を歓迎。受講無料ですが、材料代は個人負担となります。なお、現在受講されている方は申し込む必要はありません。

ふれあいセンターで教室と講座を開講

生徒を募集

鳥栖市少年野球連盟第38回春季大会

《開会式》3月13日(日) 8：40～市民球場
①10：00～ ②11：30～ ③13：30～



中世山城と筑紫氏

(21) 筑紫氏 その二十

筑紫氏の居城・勝尾城への登り口

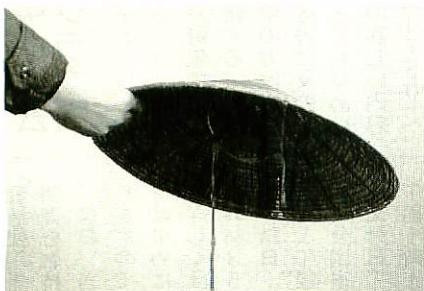
天正九年（一五八二）薩摩の島津勢が肥後の八代へ攻め入ります。この島津勢の肥後進出開始により、島津・大友・龍造寺三氏による北部九州の霸権争いが一気に激化します。この激動の時期天正十三年まで、筑紫氏は龍造寺氏とともに一心同体のごとく行動を共にします。

この間の筑紫氏の動向をうかがう資料に『龍造寺文書』の「筑紫広門起請文」があります。その大意は、一、かねてからの覺悟の趣を神文をもって申し定める、三家は、親子兄弟のごとく腹蔵なく相談し、戦のことその外世の治世等

協力一致すること。二、このよう申し定めた上は互いに疑心あつてはならない、三人の内一人でも疑いをいだくものがあれば、離反すべし。三、ついては豈後方にどのような計らいあろうとも、決して協力してはならない、万一、不審なことがあつた場合は、速やかに正邪を糾し、相談いたすこと。なお三家に関わることで敵方より申すことがあつた場合、書状の内容について少しも残らず政家・種実へ申しあげること。四、世の中がいかに変わり、親捨子捨のような事態にならうとも、政家・種実・広門のことは決して変わることなく浮沈をともにすること。五、互いに合戦の折りは、政家・種実のこと、広門差捨てたすことはない。という内容で、当時の龍造寺家ならびに秋月家との関係をよく示しています。



(49) 菅 笠



配置売薬で諸国を歩く際も使われた菅笠

配置売薬で諸国を歩く際も使われた菅笠

現在の田植えにはゴムやナイロン製の雨ガッパが使われていますが、昭和二十九年から三十年代には菅笠にく見うけられました。菅笠はイネ科のかやなどに良く以たすげで作られることがあります。古代では、すげは田の神が宿る植物として大変神聖視され、清々しいの「清」

と同様語源だと言われています。すげを笠の材料として使うのは、単に材料としての良し悪しだけでなく、神を迎えることが豊作につながると考えられたからだと思われます。

鳥栖地域では、この菅笠は単に農作業だけでなく、配置売薬で諸国を歩く際にも用いられたと思われます。現在、市の文化財収蔵庫には一個しか保存していませんので、どなたかお譲りいただければ幸いです。



今号の表紙

◆赤ちゃんの写真を募集 「パパ撮って」に掲載する赤ちゃんの写真を募集。写真とひと言を添えて企画課広報統計係(☎83513)へ

パパ撮って



野下昭彦さん啓子さんの長女
紗也加ちゃん
(二歳一ヶ月・神辺町)

●ママからひと言

心の広い優しい子になってね。

人口

平成6年2月1日現在
()内は前月との比較

総 数56,185人 (+40)

男 26,800人 (+12)

女 29,385人 (+28)

世帯数17,458世帯(+32)

3月の納税

国民健康保険税(10期分)

納期限●3月31日

(口座振替は3月25日引き落とし)

水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合

TEL 84-2500

水道の修繕はすべて上記へお申し込みください



市の花ハナショウブ



市の木モチノキ